

1959	1956	1955	1953	1951	1946	1945	1944	1943	1941	1934	1932	1930	1927	1925	1924	1922	1920
34	31	30	28	26	21	20	19	18	16	9	7	5	昭和2	14	13	11	9
			猿投村から猿投町へ町制施行		第二次農地改革	第一次農地改革		尾三バスが名鉄自動車と合併		尾三バスが小原自動車と合併	三河鉄道猿投駅舎新築	岡崎―多治見間に省営バス岡多線開通	岡崎・多治見間鉄道敷設期成同盟会結成		三河鉄道猿投駅開業	三河鉄道越戸駅開業	三河鉄道挙母駅開業
挙母市から豊田市へ市名変更 伊勢湾台風により甚大な被害	3代目市長に長坂貞一氏	2代目市長に中村寿一氏		挙母町から挙母市へ市制施行 初代市長に渡辺釦吉氏		トヨタ自動車工業挙母工場が空襲に遭う	足助、挙母に保健所が開設					「香嵐溪」の名称がつけられる		豪雨により籠川・逢妻川が越水、枝下用水が決壊			
安保闘争			白黒テレビの本放送開始	サンフランシスコ平和条約、日米安保条約調印	新選挙法による衆議院総選挙 日本国憲法の公布	三河地震発生	東南海地震発生		アジア・太平洋戦争勃発（昭和20年8月）					ラジオ放送の開始 普通選挙法の公布			

年表・資料編

西暦	和暦	四郷地区内の出来事	豊田市の出来事	一般社会の出来事
1864	元治元	浦野酒造場創業		
1874	明治7	青木学校設立	挙母・大阪（小原）・足助・大津（豊田）・大沼に郵便役所が置かれる	
1889		合併により上郷村に属する	愛知県下の各地で町村合併	大日本帝国憲法公布
1890	23		枝下用水（東用水）完工式を実施	府県制・郡制の公布 教育勅語の発布
1892	25		挙母村から挙母町へ町制施行	
1894	27			日清戦争勃発（〓明治28年4月）
1897	30	飯田街道の越戸、四郷から名古屋、足助間に駅馬車開通		
1900	33	御料地特売御払下 信参鉄道計画申請		
1904	37			日露戦争勃発（〓明治38年9月）
1906	39	上郷村と広沢村が合併し猿投村大字四郷村になる 村役場の設置	各地で町村統廃合	
1911	44	井上徳三郎による青木原の開墾事業開始		
1912	明治45 大正元	四郷の浦野謙朗氏らがフォード1台を共同購入		
1913	2	乗合自動車発足（猿投村越戸）	平戸橋―名古屋間で乗合バスの営業開始	
1914	3	尾三自動車株式会社設立		第一次世界大戦勃発（〓大正7年11月）
1916	5	信参鉄道計画廃案		

2023	2021	2019	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2000
5	3	平成31 令和元	28	27	26	25	24	23	21	20	19	18	17	16	15	14	12
組合解散認可	造成工事竣工		造成工事起工式	組合設立認可・組合設立総会	市街化区域編入・都市計画決定	四郷駅周辺土地地区画整理組合発足	四郷駅周辺土地地区画整理組合発起人会		四郷駅周辺土地地区画整理準備会設立		豊田勤労福祉会館閉館	まちづくり勉強会開始	愛知環状鉄道員津駅開業 豊田市西加茂郡2町村、東加茂郡4町村を合併	名鉄三河線三河御船駅、枝下駅、三河広瀬駅、西中金駅の4区間が廃線	北消防署移転新築	あいち豊田農業協同組合発足	
				ラグビーワールドカップ2019開催都市に決定 「新★豊田市誕生10周年プロジェクト」展開		おいでん・さんそんセンター開所	8代目市長に太田稔彦氏		環境モデル都市として国から選定	新とよたプラン21	スカイホール豊田がオープン コム・スクエアがグランドオープン		東海環状自動車道開通 愛・地球博開催	農ライフ創生センター開設 豊田加茂7市町村合併協定調印式			7代目市長に鈴木公平氏 豊田そごう閉店
	東京2020オリンピック・パラリンピック開催	消費税10%導入（軽減税率8%） 新型コロナウイルス感染症発生	熊本地震発生 米オバマ大統領広島市訪問	安全保障関連法成立	消費税8%導入	富士山がユネスコ世界文化遺産に登録	東京スカイツリー開業 山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞受賞	東日本大震災発生	政権交代で鳩山内閣発足		新潟県中越沖地震発生		中部国際空港「セントレア」開港		イラク戦争勃発	学校が完全週5日制になる 日韓共催のサッカーW杯開幕	二千円紙幣発行 九州・沖縄サミット開催

1998	1997	1995	1994	1992	1991	1990	1989	1988	1986	1982	1977	1976	1974	1972	1967	1965	1964	西暦
10	9	7	6	4	3	2	平成元	63	61	57	52	51	49	47	42	40	39	和暦
猿投地区まちづくり協議会発足				愛知県勤労福祉会館移転先として1万2000坪を四郷駅前に確保		猿投農林高等学校南の田7000坪の用地買収、工業団地として造成	愛知環状鉄道新駅構想（現員津駅）	猿投農協カントリーエレベーター竣工式		県道豊田・多治見バイパス国道419号に昇格	419号から西側の四郷駅一帯が農業振興地域に編入		旧・猿投地区県営ほ場整備事業完了		豊田・多治見419号バイパス建設の計画	猿投町が豊田市に合併 猿投土地改良区設立	国鉄岡多線工事路線として国の事業化に取り入れられる 愛知県住宅供給公社による公営住宅建設	四郷地区内の出来事
豊田市が中核市に移行 参合館に豊田市中央図書館・コンサートホール・能楽堂が開館	国道153号大野瀬トンネルが開通	豊田市駅前東地区市街地再開発ビル「ギャザ」が完成 豊田市美術館が開館	豊田税務署が開署		小原トンネルの開通式が行われる 平成記念橋が開通	自然観察の森がオープン 足助町福祉センター「百年草」がオープン	豊田おいでんまつりが始まる 豊田市運動公園野球場がオープン	6代目市長に加藤正一氏 豊田そごう開店	第三セクター愛知環状鉄道設立			5代目市長に西山孝氏		猿投グリーンロード開通 昭和47年7月豪雨災害	豊田市郷土資料館・民俗資料館が開館	豊田市の市の花が「ひまわり」に決定	4代目市長に佐藤保氏	豊田市の出来事
長野冬季オリンピック開催 サッカーW杯に日本が初出場	消費税5%導入	阪神・淡路大震災発生 地下鉄サリン事件発生	関西国際空港開港 大江健三郎氏がノーベル文学賞受賞		バブル崩壊 湾岸戦争勃発		消費税3%導入 名古屋市で世界デザイン博覧会開催 ベルリンの壁崩壊	青函トンネル開業 瀬戸大橋開通	男女雇用機会均等法施行	ホテルニュージャパン火災		南北ベトナム統一 ロッキード事件で田中角栄元首相逮捕	佐藤栄作元首相がノーベル平和賞受賞	札幌冬季オリンピック開催 沖縄返還	名神高速道路全通	日韓基本条約締結	東海道新幹線開業 東京オリンピック開催	一般社会の出来事

四郷まちなみアルバム

四郷小学校

豊田市四郷町山畑76-8



昭和50年(1975)4月、豊田市41番目の小学校として青木小学校から分離独立して開校された。児童数が年々増加し昭和59年(1984)には960名25学級となったため、翌年に分離。令和6年(2024)4月現在児童数425名18学級。

豊田市消防本部北消防署

豊田市四郷町森前南6-1



昭和47年(1972)4月、四郷(与茂田交差点東側)出張所が開設される。平成15年(2003)に現在の場所に新築移転し、四郷駅前区画整理事業においては同署をはじめ各種既存施設の機能が最大限生かせるよう計画が進められた。

豊田北郵便局

豊田市四郷町森前南26-2



昭和31年(1956)、四郷交差点付近に国有局舎として新築された猿投郵便局。昭和55年(1980)、現在の地に移転し、豊田北郵便局と改称した。

枝下水護岸工事

四郷を流れる枝下水は農業用水として利用されている。大規模災害時に近隣市街地への広範囲に及ぶ浸水や営農への影響が懸念されることから、防災力を向上させ農業経営の安定維持を図るべく、現在耐震改修工事を行っている。



井郷中学校

豊田市井上町1丁目10-1



昭和61年(1986)に豊田市立猿投台中学校から分離独立して市内20番目の中学校として開校された。井上町の「井」、四郷町の「郷」とつて井郷(いさと)と命名。令和6年(2024)7月現在児童数449名17学級。

井上小学校

豊田市井上町2丁目34



昭和60年(1985)4月、四郷小学校から分離し豊田市49番目の小学校として誕生。青木小学校、四郷小学校に分かれて就学していた児童や保護者らにとつて念願の開校であった。令和6年(2024)4月現在児童数529名21学級。

猿投コミュニティセンター

豊田市四郷町東畑70-1



昭和57年(1982)5月、猿投支所の隣に体育館とふれあい広場を兼ねた建物として竣工。支所と公民館を包括した猿投コミュニティセンターにはコミュニティ会議も結成され、市域のモデルともなった。

下古屋公民館

豊田市四郷町六反田南8-1



昭和53年(1978)12月15日完成、敷地面積150坪、総工費2800万。ほ場整備後の換地過程において資金調達、土地確保がなされ開設された。コミュニティを育む場所としておよそ50年にわたり活用されたが、駅前開発事業の一環でまもなく新しく生まれ変わる。

お鍬山

住民によって樹木の伐採や草刈り、ユキヤナギの植栽といった整備活動が行われ、身近な里山として憩いの場となっている。



旧・飯田街道

浦野酒造南側の細い路地に名残を留める旧・飯田街道。尾張名古屋と信州・飯田を結び、江戸時代から明治の中頃まで中山道の脇街道として塩を運ぶ馬方や旅人で賑わった。住民によって整備され、今なお往時の面影を伝えている。



四郷の歴史

地名の由来

『猿投村史』によれば「四郷村は田糶郷、富田郷、大島郷、深見郷の四郷に亘るによる」とある。今でいう西広瀬からみよし市、梅坪町周辺に囲まれた広大な土地であった。

四郷の歴史は古く、周辺には古墳や遺跡、奈良時代の条里制を思わせる地名の名残もある。奈良県で発掘された当時の豊田地域の木簡（税に付けられた荷札）には「物部氏」の名が見え、歴史上、重要な地であったことが散見される。

「四郷」とその名が歴史に初めて登場するのは貞和5年（1349）の室町時代で、猿投神社『修理米注進状』に「四郷」の文字が見られ、文書での記録としては最古の文献となる。

室町時代地頭であった中条氏、戦国時代の織田氏の支配を経て、江戸時代の徳川4代將軍家綱のころには鳥山牛之助精明四郷代官の陣屋がこの地に置かれた。

明治22年（1889）、市制・町村制の施行により越戸村、花本村、荒井村、四郷村、御船村が合併して上郷村が発足。明治39年（1906）に上郷村、広沢村、富貴下村の一部が合併して猿投村が発足。昭和42年（1967）、豊田市と合併した。

自治区の変遷

明治初年
四郷村
明治22年10月1日合併
上郷村 （四郷村・花本村・荒井村・越戸村・御船村が合併）
明治39年7月1日合併
猿投村 （上郷村・広沢村・富貴下村・内、西枝下・西広瀬Vが合併）
昭和28年4月1日町制施行
猿投町
昭和30年3月1日編入合併
猿投町 （旧・猿投町・石野村・保見村が編入合併）
昭和42年4月1日編入合併
豊田市



寛延4年（1751）、江戸中期8代将軍徳川吉宗の頃に作成された古地図

四郷の人物

歴代区長

【明治中期より昭和19年まで】

浦野宗松 磯貝金四郎 磯村長五郎
磯貝金四郎 福岡正六 磯村伊三郎
宮川伊三郎 浦野穉 三矢周次郎
浦野秀吉 浦野小三郎 宮川正一

浦野鋭平

万延元年（1860）12月23日、四郷村生まれ。幼少のころ雲龍寺住職の筆弟となり、四郷学校に学んだ後に清酒醸造の家業を継ぐ。上郷村長・猿投村長に就任し地方自治発展に尽くしたほか、郡会議員、県会議員、衆議院議員として県政・国政で活躍した。

浦野謙朗

明治15年（1882）3月25日、浦野鋭平の長男として四郷村に生まれる。明治42年（1909）に家督相続。村長として村政に尽力したほか、尾三自動車株式会社等の取締役、に就くなど産業界でも活躍。県会議員、衆議院議員にも当選した。

浦野本一

明治13年（1880）2月8日、四郷下古屋に生まれる。家業は米穀飼料肥料商。西加茂群会議員・猿投村議会議員、村長として地方行政に貢献した。息子の幸男氏は三木内閣の労働大臣として入閣。幸男氏の娘婿である休興氏も村山内閣で国務大臣・科学技術庁長官に就任するなど3代にわたり国政を担った。

【昭和20年以降】

浦野治一（昭和20年）
磯村貴一（昭和21・24・32・39年）
小栗清一（昭和22年前期・30年）
小栗実（昭和22年後期）
岩田才一（昭和23・31・33年）
浦野釺男（昭和25・35年）
福岡金弥（昭和26・28・29・34・41・44年）
磯谷直一（昭和27年）
三矢専一（昭和36年）
福岡時雄（昭和37年）
磯谷到（昭和38・42・46・50・54年）
福岡銃二（昭和40・45年）
浦野銀一（昭和43年）
宮川一夫（昭和47・51年）

磯谷義雄（昭和48年）
小栗鉄夫（昭和49・53・57年）
磯村鋭一（昭和52・58年）
浦野正二（昭和55年）
宮川美代志（昭和56年）
大内秀雄（昭和59年）
福岡増美（昭和60・63・平成元年）
福岡善一（昭和61・62年）
近藤徳美（平成23年）
小栗富保（平成45年）
梅村悟司（平成67・8年）
竹田成章（平成9・10年）
杉山幸夫（平成11・12年）
小栗金夫（平成13・14・15年）
木村安雄（平成16・17年）
三矢宣昭（平成18・19年）
木村潔（平成20・21・22年）
木村駿（平成23・24年）
浦野憲治（平成25・26年）
磯村貴史（平成27・28年）
渡辺昌道（平成29・30年）
梅村孝義（令和元・2年）
加藤勝（令和3・4年）
福岡信明（令和5・6年）

下古屋・天道地区マップ

本書掲載ページ

【下古屋】

浦野酒造：P 11・48・49・50・59
 弁財天の石碑：P 48
 お歙山散策路：P 48・59
 旧飯田街道と秋葉山常夜燈：P 49
 道満さんの祠：P 49

延命寺：P 50

延命寺の弘法さん：P 50

八柱神社：P 52

下古屋公民館：P 58

北消防署：P 58

豊田北郵便局：P 58

【天道】

水無瀬川桜並木：P 8・50・51
 アゲハチョウ観察公園：P 9・51
 旧飯田街道と道標：P 51・59
 秋葉山常夜燈と火の見櫓：P 52
 観音堂と弘法さん：P 52
 雲龍寺：P 53
 四郷村宝暦義民供養塔：P 53
 四郷小学校：P 58



【四郷まちづくりのあゆみ編さん委員会】

委員長 梅村利幸
 副委員長 福岡谷雄
 委員 杉浦克彦 磯村貴史 福岡信明
 加藤勝 井口太宏 後藤美由喜

【オブザーバー】

森泰通（豊田市役所美術・博物部長）

【取材協力者・資料提供者】 敬称略・順不同

福岡銃二 岩本光司 岡本いく子
 雲龍寺 浦野酒造 延命寺
 JAあいち豊田 愛知環状鉄道株式会社
 豊田市民芸館 四郷八柱神社 豊田市

【写真提供者】 敬称略・順不同

愛知県豊田加茂建設事務所
 磯村貴史
 豊田市

P 23 上・下／P 25 上／P 38／P 39 上／P 40 上／P 41／P 43 上・下／P 53 左上

※このほか多くの方から資料提供やご教示をいただきました。謹んでお礼申し上げます。

【参考文献】

『上郷・豊田合併50年のあゆみ』豊田市役所 平成29年3月
 『井々郷 ぐるっと見て歩き』井郷便利帳編集（改定）委員会 令和元年
 『乗り物の歴史―近代豊田の交通―』豊田市教育委員会 平成11年2月
 『出発進行！ 愛知環状鉄道―開業までの歩み（新聞報道から）―』
 愛知環状鉄道連絡協議会 昭和63年3月

『豊田市都市計画マスタープラン』豊田市 平成20年3月

『愛知環状鉄道の10年』愛知環状鉄道株式会社 平成10年3月

『愛知環状鉄道の30年 安全で信頼される鉄道を目指して』
 愛知環状鉄道株式会社 平成31年3月

『猿投土地改良区 二十五年の歩み』猿投土地改良区 平成2年12月

『設立40周年 猿投土地改良史』猿投土地改良区 平成18年3月

『四郷・下古屋誌』四郷・下古屋誌編集委員会 平成12年3月

『猿投の遺跡』猿投の遺跡編集グループ 令和3年3月

『とよたの人物記3』豊田市教育委員会 平成6年3月

『保存版 ふるさと豊田 豊田市制施行60周年記念写真集』
 株式会社郷土出版社 平成23年3月

『写真アルバム 豊田市の今昔』樹林舎 平成29年5月

『新修豊田市史概要版 豊田市のあゆみ』豊田市 平成23年3月

『豊田四郷駅周辺土地地区画整理事業 完成記念誌』

『豊田四郷駅周辺土地地区画整理組合 令和5年9月』

『猿投町誌』猿投町誌編集委員会 昭和43年8月

『郷土資料第一編 猿投村史』昭和61年

※このほか自治体の広報誌や新聞記事、ウェブサイトなどを参考にしました。